

みなさんと一緒に未来への道を創る

優しさと慈しみのある町づくり

- 町民皆様の意見を聞き、生活の基礎となる医療、福祉、保育、教育の充実や、災害対策で重要な「自助」のパンフレットを作成し、安全で安心して暮らすことが出来る町づくりに全力をつくします。
- 知育、徳育、教育の基礎となる「食育」を推進し、若い世代を中心としてすべての世代が健全な食生活ができるよう「実践の環」を広げます。

余市町の産業の発展と自然を活かした観光振興を促進します

- すべての産業が抱えている後継者不足、労働力不足の対策を行います。農水産業と協力し素晴らしい景観の中、体験型観光を推進します。

議会の活性化と開かれた議会をめざします

- 町民がわかりやすい議会運営、定例会等の議会をソーシャルメディアを使い発信します。全ての議事録を余市町のホームページに掲載します。

町民皆様のお力添えをお願い申し上げます

経歴 昭和44年余市高校卒業 昭和49年日本大学卒業 現在(株)マリンうちうみ代表取締役



うちうみ博一



いとう 正明

余市町議会改革を積極的に進めます。

○議会のユーチューブ配信を実現します。
議会でのような話し合いがなされているか、町民には知る権利があります。
議会だよりで後日報告されますが、かなり遅くなつてからです。もちろん、全ての人がリアルタイムで観ることが出来ないとしても、ユーチューブは録画されておりますので、その日の夜にも確認することは可能です。議会の見える化は、議会側の当然すべきものであるとの認識のうえで、積極的に対応し実現を目指していきたいと考えております。

○議員定数の削減について

令和元年5月に600名を超す署名をもって、余市町議会議員定数条例の改正を求め、余市町に対して地方自治法に基づき直接請求を行った結果、三年の歳月を要したものの、令和四年六月議会において、直接請求通り議員定数の削減(十八名↓十六名)が議決、実現しましたが、更なる削減(十六名↓十四名)が必要と考えており、実現を目指していきたいと考えております。

○議員提案を積極的に進めていきます。

議会は、二元代表制のもとで、町理事者側からの提案に対してのチェック機能を發揮していくだけで良いのでしょうか。議員として町民の声を吸い上げ、議会において提案していくことで、議会の活性化と町民の為の施策を講じることが出来ると信じております。一つずつ確実に進めていくことが必要と考えております。

私を育ててくれた余市のために



ふじの博三

余市町はウキスキーやワイン、それに伴う食材の生産地として全国的に注目を集めています。その可能性としての力を生かすべく、多くのまちづくりの専門家や若者が余市町での起業や提案をしています。まちづくりと経済の活性化は表裏一体であると考えますが、そこに町民の満足度が加味されなければなりません。

このことを踏まえ、私は「町民のよろこびを生かす」として「議会活動の規範」とし、「初心を忘れず町民のために」を目標にこれからも皆様の声を行政や議会に反映させてまいります。

私の活動目標

- 若者のアイデアと行動力をバックアップできるまちづくりをめざします。
 - 余市町繁栄の基である経済(農水産業・商工業)の活性化をめざします。
 - 住民ひとりひとりの声が届く町政をめざします
 - 安心安全なまちづくりと公共サービスの充実をめざします。
 - 安心して子育て出来る環境の整備をめざします
- 住民満足度が高く元気で活力のあるまちに
ふじの博三は、がんばります

略歴

- 北海道余市高等学校普通科卒業
- 福岡工業大学工学部通信工学科卒業
- 産業建設常任委員会委員長(現)
- 余市幸住・豊浜学園後援会会長
- 三盛住設代表

きぼう まち

希望の町よいち

人口減少社会でも
輝く地域をつくる



中井としお

余市町の笑顔づくり

絆のあるまち

喜び合えるまち

全国的な傾向ではありますが、私達、余市町においても人口は減少しています。
 「静かな有事」といわれる人口減少と少子高齢化は進み、地域課題と住民生活に直結する行政課題は多様化しています。「平成30年に、北海道横断自動車道小樽・余市間が開通し、道央圏へのアクセスが格段に向上し、観光をはじめ交流人口の増加、医療面では、救急医療活動や医療機関との連携強化に大きな役割を果たしています。」地域の変化や変革は、住民ニーズの多様化と共に地域にインパクトを与え、余市町に新たな活力と未来に対する夢や希望が生まれるものと考えています。
 ”よいち”の町全体でチャレンジしていける、町民一人ひとりが、心豊かに思いやりと優しさで支え合う余市町を目指してまいります。

誰もが生き生きと暮らし、豊かさが循環するまちを目指します。

これまで、余市町自治推進委員会委員や、余市町まちづくり協議会委員などの活動を通して、町づくりに関わってきました。皆さんの声を議会に届け、一緒に豊かな町の未来を創りたいと思っています。



プロフィール

- 1980年1月2日 札幌市内生まれ
- 1998年 北海道立余市高等学校卒業
- 1998年～2022年 ニッカディスティラリーサービス勤務
- 2017年～2022年 一般社団法人余市観光協会理事
- 2017年～しりべし女子会理事(現在も継続中)

選挙カーは使いません。

地域の食を給食に

町の人が育てた野菜や、近くの海で獲れた魚を給食に。豊かさが循環する仕組みづくりに取り組みます。

みんなの声で、まちを改善する仕組みづくり

子供連れで一緒に参加できる意見交換会を開催する他、LINE公式やアンケートなどを活用して、町づくりにみんなの声が届く仕組みづくりに取り組みます。

地域の交流と福祉の推進

他地域の良いところを取り入れ、福祉サービスや相談体制の強化に取り組みます。

誰もが生き生きと暮らせるまち

みんなの「得意」がつながり、誰もが活躍できる環境づくりに取り組みます。

労働環境の整備改善

育児や介護、障がいなど、一人ひとりの状況に合わせた多様な働き方が出来、お互いが「ありがとう」で結ばれる労働環境づくりを推進します。

子育ての不安、悩みを未来の希望に変えるまちづくり

子育ての相談・支援の輪を広げ、誰もが利用しやすい環境整備と、不登校、ひきこもりの当事者や家族へのサポート体制づくりに取り組みます。



おもりかなえ

政策

- ①経験を活かし、子育て支援、福祉に力を入れたい
子育ての経験と介護の経験を活かし、子供、老人に優しい街づくり
- ②第一次産業の活性化
地域の基幹産業、農業、漁業、加工業を守って行きたい
- ③自然環境の整備
海岸使用のマナー改善、ビーチクリーニング、国定指定公園の維持、保存会設立等
- ④後継者不足の担い手育成計画
農業、漁業、全ての業種に当てはまる問題であるため、補助金等活用し 後継者になりやすい環境作り。
地元若者が戻って来たいと思える町にしたい。

立候補のご挨拶

この度余市町議会議員に立候補する運びとなりました若さ溢れる45歳の川内谷さちえです。
 仕事、子育てと忙しい中で更に町政に参加するということは生半可の気持ちでは無理だと思いましたが、今がチャンスと言う流れに乗り最も協力が必要な家族が背中を押してくれた事が決めてとなり、やってみる！自分が変わらなければ周りは変わらないという思いと自分がここまで成長するにあたり、海は存在は欠かせません。
 その豊かな海を守って行きたい気持ちが強くなり、私にしかできないと言う使命感を感じました。立候補する報告を身近な方へ伝えると沢山の方が温かく応援してくださいました。多分私だからできる事だと実感しています。自分経験を活かし、町の皆様からさっちゃん！と声をかけて頂ける身近な存在になりたいと思っています。沢山の人に支えられ、応援され私は町政へ行きたい思います。どうか皆様の温かいご支援を川内谷さちえへよろしくお願い致します。



川内谷 幸恵

余市の未来へ あなたとすすむ

③ 住みやすい余市の実現へ

- ・書かない窓口の設置をはじめ、デジタル化を進めながら、できない人への対策も行います
- ・児童手当の拡充や保育料負担軽減を実現します

誠実に1つ1つ取り組みます

① 国道5号線2車線化へ

- ・国道5号線を片側2車線化し、交通渋滞の緩和を目指します
- ・世界に誇れる一次産業をアピールし、観光産業を発展させ、地域活性を目指します

② 防災対策の強化を推進

- ・防災ガイドマップ(マイタイムライン)の推進で避難行動を明確化し、町民の命を守ります
- ・余市町総点検を実施し、老朽化したインフラの整備を行い、町民の安全を守ります

プロフィール

1954年1月生まれ 69歳

北海道マツダに47年勤務

2019年 余市町議会議員 初当選

現在 妻と二人暮らし

公明党余市支部 支部長

議会運営委員会 委員

産業建設常任委員会 委員



公明党公認

てらだ進

すすむ

住民目線で議会をチェック いつも身近な相談相手



おおもつ翔へ

あなたの大切な一票は

- ・学校給食、保育所の副食費の無償化
- ・産休明け保育(生後57日)導入
- ・小中学校の「副教材費」の負担軽減
- 【高齢者福祉】
 - ・町独自の「補聴器購入助成制度」創設
 - ・敬老バス導入
- 【くらし・公共交通】
 - ・町営斎場の住民の合意なきままの移設に反対
 - ・JR余市駅を中心とした公共交通網の充実
 - ・地方6団体も求める、国保税引き下げ実現
- 【平和なまちづくり・自然エネルギー】
 - ・憲法9条守り、戦争させない平和なまちづくり
 - ・原発ゼロ、核ゴミ受け入れ反対
 - ・自然破壊伴う巨大風力発電反対

【子育て】 おおもつ翔のお約束

みなさんに町議会へ送り出していただき、2期8年。
「子どもも高齢者も住みよいまち」はこの年代にとっても住みよいまち。このことを信条に住民目線で一歩一歩要求を実現してきました。
今後も、誰もが安心して暮らせる余市町を目指して頑張ります。

【プロフィール】

1984年7月恵庭市出身。

2007年札幌国際大学社会学部卒。大学卒業後、小売業を経て弁当店店長として勤務(福島県)

2015年余市町議会議員初当選(2期8年)。

家族:妻、4男1女

趣味:ドライブ・ボードゲーム・歴史探求



日本共産党

おおもつ翔

しょう

39歳

食育・芸術文化で明るい町づくり

- 食の力で育む心と体、地域の元気を目指し、すべての世代の健全な生活を守るため、効果的な食育の取り組みを推進します。
- 町民の親しんでいるお茶、お花などの日本の伝統文化を地域の人たちと一緒にいっそう楽しめる芸術・伝統文化あふれる町づくりを目指します。
- 地域共生社会と区会活動を通して子供たち・障がい者・高齢者を見守り、防災に取り組み安心・安全な暮らしを守ります。
- 町民が望んでいる町営斎場の早期着工・防災設備の整った「道の駅」早期実現を目指します。老朽化が進む公共施設を町民が利用しやすいように改修を進め、新築を提言します。
- 議会運営を効果的に運用できるよう議員定数削減と議会のデジタル化を実現します。

皆様のお力添えをお願い申し上げます

略歴

1953年 余市町生まれ 1972年 余市高校卒業 1974年 青葉学園短期大学卒業
1978年 (株)内海商店入社 一般社団法人茶道裏千家淡交会小樽支部幹事



内海ふみこ

女性の視点できめ細かく！誰もが自分らしく！笑顔で！



【土屋みなこ】略歴

- ◎1967年9月23日 浜坂別荘生まれ
- ◎大川小学校、旭中学校、商業高等学校 卒業
- ◎2003年 余市町議会議員 初当選 (以来5期連続当選)
- 【現在】
- ◎余市町議会 副議長
- ◎北後志衛生施設組合議会 議員
- ◎北後志消防組合議会 議員
- ◎北しりべし廃棄物処理広域連合議会 議員
- ◎余市町議会 民生環境常任委員会 委員
- ◎余市町議会 議会運営委員会 委員
- ◎余市町保健推進委員会 委員

医療・保健・介護
 ・誰もが健康で生き生き暮らせるまちを目指し、福祉サービスの充実や相談体制の強化等に取組みます。

子育て・教育
 ・安心して子育てできる環境整備相談体制の強化に取組みます。
 ・教育予算の十分な確保を求め、学校での保護者負担の軽減などに取組みます。

地域公共交通
 ・余市町内の公共交通網形成に向けて、高齢になって車を手放しても安心して暮らせるよう、みんなの意見が反映され利便性を考慮したものとなるよう、力を尽くします。

一次産業・六次産業
 ・食の安心・安全と担い手育成、持続的発展に向け取組みます。
 ・「ワイン特区」などの利点を活かした6次産業の推進、「よいちブランド」の確立に向け、力を尽くします。

防災・減災
 ・自然災害が大規模化、多発化をしている状況を踏まえ、対策強化に取り組めます。特に高齢化が進む中で災害弱者への対策強化などに力を尽くします。

議会改革
 ・議会が見えにくいという声をよく聞き、より身近な「開かれた議会」を目指し取組みを進めます。

新型コロナウイルス感染症の拡大もようやく落ち着きをみせ、日常の暮らしも元に戻りつつあります。この3年間で人と人の繋がりは希薄となり、社会構造全体がデジタル化へと大きく舵を切りました。急激な変化に「着いて行けない」との声も聞こえます。
 こういった時代だからこそ、一人ひとりの声に耳を傾け「誰も取り残さない」そんな余市町を目指して行きます。みんなの声がしっかりと届き反映される、そんなまちづくりに向かい、邁進して参ります。

みんなの声がしっかりと届く！
 そんなまちづくりを一緒に！
 みんなつながる



土屋みなこ

希望あふれる余市の未来

余市町議会6期24年の豊富な経験と抜群の行動力を活かし、「やさしい町づくり」を目指します！



公明党公認

しらかわ 白川 えみ子

プロフィール
 ●1955年 9月生まれ(67歳)
 ●1975年 道立余市高等学校定時制卒
 ●1999年 余市町議会議員 初当選 (以来、6期連続当選)
 現在 夫と二人暮らし
 公明党小樽総支部副総支部長
 議会運営委員会 委員長
 民生環境常任委員会 委員

- 早期発見で子どもの特性を活かし幅広い選択肢を可能にできるよう進めます
- 発達障害早期発見の為、5歳児健診導入を！
- 障がい者サポートハンドブック作成の推進！
- 障がい者目線で、どのようなサポートをすれば良いのかを明確にできるように進めます
- 高齢者向け健康ポイント制度導入で健康増進へ！
- 町民の健康づくりのために、運動や健診を受ける事を促進できるように進めます
- 子育て世代安定を推進！
- 保育料負担軽減を進めます
- 児童手当の拡充を図ります
- 産前・産後のケアを充実して、出産をサポートします

生き活き！！ よいち再創生



しょう 庄げんりゅう (58才)

プロフィール
 小樽潮陵高校 卒業
 大正大学大学院 卒業
 余市町議会議員 (平成26年より現在)
 余市青年会議所 第41代理事長
 保護司
 杉の子幼稚園 園長代行
 余市ベント浄苑 社長

- 地域づくりに関しては、新たに計画されている『道の駅』や『農道空港』は防災機能を備えつつ地域住民の「いい場所」となる施設をめざします
- 公共施設の環境改善
 - ・ 町内公共施設のネット環境を整備します
 - ・ バリアフリー化を進めます
- 教育・福祉関係
 - ・ すでに実施されているフッ化先口を中学生まで拡充します
 - ・ 障がい者施設の充実を促進します
 - ・ 介護従事者の育成施設を創設します
- 地域間交通
 - ・ 余市・小樽間のJR電化を促進し、地域住民の小樽・札幌圏への通学・通勤の利便性を向上させます
 - ・ 新千歳空港から余市駅までのJR電化により道内外の観光客を呼び込みます
- 議会関係
 - ・ 行政と議会がともに地域住民の最大幸福を目指した提言型活動を実行します
 - ・ 議員定数のさらなる削減を推し進めます
 - ・ DX化の実施を推進します

町民と共に元気な町をつくりまします

～プロフィール～

- ・昭和28年10月5日生
- ・倶知安農業高等学校農業土木科卒業
- ・国土建設学院測量科卒業
- ・昭和54年4月余市町役場奉職
- ・建設水道部、経済部農業委員会歴任
- ・平成26年3月余市町役場定年退職
- ・道の駅生産者直売会事務局長
- ・北海道猟友会余市支部事務局長
- ・総務文教常任委員会副委員長歴任
- ・現在、産業建設常任委員会副委員長
議会運営委員会委員

6つの基本姿勢と政策

- 1、地場産業に元気を呼び起こす町づくり
- 2、観光の町づくり
- 3、安心、安全な町づくり
- 4、福祉、医療の町づくり
- 5、教育と文化、スポーツの町づくり
- 6、住み良い町づくり

皆様のご支援、ご支持を心よりお願い申し上げます。



やまもと まさゆき
山本正行

ご挨拶
私、山本正行は、元気な町づくりを目指します。一期四年の議員経験、余市町役場職員としての経験をいかし、行政と町民とのパイプ役として、一生懸命働きます。

まずは知る事。

※お金のかからない選挙を目指しています。故に選挙カーでの迷惑行為は致しません。

●2021年9月17日、午前10時。余市町栄町にある酪農家のコーン畑で熊が捕まり、私は呼ばれました。体長1m程（お尻から頭まで）の大きなヒグマが鉄の檻に捕らえられていました。そこで私はその姿をカメラに収めました。すると、余市役場農林水産課の職員から「撮らないで、消して下さい」と咎められました。因みにこの行為は憲法21条にある「表現の自由」の侵害と「検閲の禁止」に違反していると思われます。役場が関わっている以上、税金が使われています。そして今は熊の出没が各地で大問題になっています。**余市町にも大きな熊は出ています。**この事実を余市役場農林水産課は隠蔽しているのです。農林水産課はキツネ等、他の害獣駆除も公にはしたがりません。なんでも愛護団体からの抗議が来て面倒だからだそう。彼らの保身の為に我々の知る権利が脅かされています。私はこの問題を**議会で追及します。**

- 日本共産党は選挙前の恫喝行為をやめよ。
平成26年8月24日の補欠選挙において日本共産党、熊倉義城氏より「選挙に立候補するな」「あれは元々共産党の席なんだ」「選挙には200万もの金が必要になるんだ」「もし立候補するなら親戚関係を切る」等の恫喝を受けました。こういった行為は許されません。今回の選挙において日本共産党には、**民主主義、自由選挙**を尊重していただきたい。
- 選挙運動期間中の候補者、ウグイス嬢、運転手によるタバコのポイ捨てはやめよ。
以前、堀谷議員の選挙運動に参加した際、公園で休憩をしているとタバコを吸っている運動員が道端の排水溝に吸殻をポイポイ捨てるではありませんか。最悪なのは運転手が有権者の家の花壇にまで灰皿ごと捨てている所を目撃。それを注意すると「肥料になる」とぼざく始末。各候補者と運動員はこういった行為は恥と認めて選挙運動して頂きたい。
- もっと詳しく知りたい方はYouTubeで「ジャストミートあたる」で検索。選挙用の動画やライブで主張、意見交流しています。



ジャストミートあたる

町内の商店・商店街が活性化する為の施策に全力で取り組みます！

余市の果物・野菜・海産物など世界に発信していけるように、まずは日本国内にアピールします！

プロフィール
昭和49年余市生まれ
リタ幼稚園、黒小、東中、札幌光星高校へ。その後東京国際大学商学部商学科にてマーケティングを専攻。卒業後は、(株)ダブル・フェースにてアパレル製作全般に関わる。平成13年北海道に戻り(有)三楽に入社。現在、黒川18丁目区会生活安全部長 少林寺拳法道院長として地域貢献中。

思いやりと行動力で余市町の
現在（いま）、そして未来に
全力を尽くします！

未来の余市を考える。
未来につながる為に子供達の安全・安心を考えます。通学路の安全対策等、のびのびと生活できる環境作りを目指します。
自然豊かな余市町の良さを未来につなげる為自然環境の保全と共存を考えます。
自然災害に強い余市町を作ることはもちろん交通安全・防犯対策にも取り組みます。



無所属 四十九歳
さとじ 剛司

みんなで築こう我がふるさと未来のよいちをつくる6本の柱！



かやね英昭

① 一次産業の推進、観光業の活性化

農・漁業をさらに発展させる政策。農地借用政策の再強化!!働く方を増やす対策急務!!滞在型観光推進!!

② J R小樽〜余市間の存続

通勤・通学・通院等や観光業の発展と存続に尽力!!
国と道のパイプをフル活用し存続に尽力いたします!!

③ 除排雪体制の強化

通学路確保!高齢者に対する優しい置き雪の対策!
除雪計画町民会議の要望と実施!!空地の活用!!

④ 福祉や介護の充実

働く方を増やす対策強化。福祉や介護職場体験を、
学校の定期学習に町の未来プランに!!

⑤ 学校施設、スポーツ施設の整備

老朽化の施設整備対策。子供育成ビジョンと
各団体と連携促進。学校適正配置計画推進と実行!!

⑥ 子育て環境の推進と支援対策

産後ケアの充実。子育て支援情報発信の充実。
保育施設の時間延長と休日保育促進!!

お子様達は地域の宝。先人の皆様の思いを
繋げる街づくりに挑戦し続けると共に余市町の
発展の為に皆様と共に政策実現に向けて一生懸命
頑張っております。
又、議員定数の削減にも力を入れていきます!!

【令和5年 余市町農業協同組合推薦】

【主な所属及び公職】

【2015年度余市町議会委員初当選2期】

- 余市神社役員
- 余市町農業委員会委員
- 参議院長谷川岳余市後援会長
- 北海道中小企業家同友会北後志地区会長
- NPO 法人よいスポ顧問
- 余市パークゴルフ協会顧問
- 余市合同青果物地方卸売市場買受人組合員
- 余市駅を存続する会副会長
- 余市ライオンズクラブ会員
- 余市青年会議所シニアクラブ会員
- 余市観光協会会員
- 余市リトルシニア後援役員
- 入舟第2区会青年部長

【自営】

- 余市川温泉(株)かやね 代表取締役
- 農業
- リサイクルショップよいち代表

全力投球！ 活力ある未来！ 余市町を復活！

町民の声を議会に届ける！そして実現する！

◆ 地域(地方)を大切にす！

- 町民の生活と生命を大切にす地域医療・福祉の充実
- 地場の資源を活かした新たな産業振興と地域の活性化
- 町民の足を守るため、地域交通ネットワークの整備

◆ 地場産業の振興を図る！

- 農業経営基盤整備の充実と新規就農者への支援強化
- 農水産物の生産、加工、流通、販売(6次化)の推進
- 地場産業と教育機関の連携による地域活性化

◆ 活力ある商工観光業の振興！

- 本町の環境資源を活かした観光振興と地場産業の連携
- 中心市街地の活性化と既存商店街の再整備の強化
- 道の駅「スペースアップルよいち」の再編整備

◆ 安全・安心のまちづくり！

- 医師不足の解消、介護人材確保、地域中核病院の充実
- 町民生活に密着したライフライン・防災環境の整備
- 地震・台風・豪雨・豪雪など災害に強いまちづくり

◆ 生活者に優しい町をめざす！

- 子ども・子育て支援事業の拡大で働く環境の整備
- 未来の子供たちに残す都市公園予定地の活用・機能の整備
- 余市の風土、自然に親しみ豊かな心が育つ町をめざす

きしもと よしかつ
岸本好且のプロフィール

- 1950年 余市町黒川町生まれ
- 職歴
1969年 ニッカウキスキー(株)北海道工場勤務
1970年~ 郵政職員として北海道管内で勤務
2011年 余市郵便局長を最後に定年退職
2011年 余市町議会議員初当選
- 議会の主な任務
・総務文教常任委員会委員長
・後志教育研修センター組合議会議員
- 他の主な公職
北海道ラジオ体操連盟理事
余市紅志高校同窓会相談役
余市体育連盟評議員
余市スキー連盟監事
余市地区保護司会副会長

岸本よしかつ
4期目の決意!!

次の世代へ!
夢と希望ある郷土「余市町」
を創るため、一緒に考え
町民の先頭に立ちます!!

- 1 誰もが安心して暮らせる町づくり
- 2 人間と自然が共生できる社会づくり
- 3 地域にたくましく生きる基盤産業の復活
- 4 豊かな心が育つ文化・教育・スポーツの振興
- 5 みんなの知恵が結び合う活力ある地域づくり



きしもと
岸本よしかつ

理念を実現するため全力で行動します!

きれいな選挙で明るい余市町

投票日

8月6日

余市町議会議員選挙

投票時間

午前7時から午後8時まで

